

申 述 書 (児童手当用)

(該当する項目の□にチェックしてください。)

1月から5月分に係る認定請求の場合は、「前々年」にチェックする。

1 家計の主宰者(=生計を維持する程度の高い者)であることの申述

(1) 私は、配偶者より 前年 前々年 の所得が高く、家計の主宰者であり、請求書(又は現況届)記載の児童は私が監護しており、生計を同一にしています。

(2) 私は、配偶者より 前年 前々年 の所得が高くありませんが、次の理由により、家計の主宰者であり、請求書(又は現況届)記載の児童は私が監護しており、生計を同一にしています。

- (理由) ① 児童の扶養手当を受給している
 ② 児童が税控除や健康保険の扶養親族となっている
 ③ 児童の属する住民票の世帯主である

※ 上記①～③以外の理由がある場合は、家計の主宰者であることがわかる具体的事実を以下に記載してください。

ここにチェックがなければ、
受給できない。

2 児童手当の受給状況に関する申述

私は、市区町村から児童手当を受給しておらず、配偶者は児童手当を受給していません。

3 配偶者の被扶養者としての状況

私は、配偶者を 前年 前々年の1月1日から引き続き裁判所共済組合の被扶養者としています。

4 児童と別居している場合の申述

私は、次の理由により、請求書(又は現況届)記載の児童と同居していません。

- (理由) 仕事の都合により単身赴任しているため
 その他(具体的に記入してください。)

市民税課税通知書などにより、
所得上限限度額を下回ること
なった事実を知った日を記入する。

5 所得上限限度額未滿となることを知った日 令和 ●●年 ●●月 ●●日

※ 課税通知書等により、所得上限限度額未滿となることを知った日の翌日から15日以内に認定請求を行った場合には6月分から支給することになります。

令和 ●●年 ●●月 ●●日

認定権者

殿

請求者(受給者)氏名 ○○○○